

越境EC扱い急増、 代行サービス好調

ペガサスグローバルエクスプレスは越境eコマース(EC)貨物の取り扱いを急速に伸ばしている。国際一貫輸送サービスの「Pegasus My Choice」に包括的なフルフィルメントサービスを組み合わせた貿易・物流代行の「ペガサスステーション」が好調で、越境EC貨物の輸送件数は過去3年で15倍に拡大した。今後もサービス拡充を推し進め、取り扱いの拡大につなげていく。



石島次郎担当課長(左)、徳田愛子担当課長(中央左)らEC事業部のメンバー

貿易実務、システムも支援

同社は得意とする国際宅配輸送を活用して、拡大する越境EC貨物の拡大に取り組んできた。2018年に新設したEC事業部を中心にサービス拡充や販売を進めている。EC貨物を得意とする海外物流企業や、ECモール、ECプラットフォームとも提携してシステム連携するなど、受発注管理や貨物追跡などの面でも利便性の高いサービスを提供している。

越境EC市場の拡大、さらに新型コロナウイルス禍での巣ごもり需要の拡大から、取扱いは大きく伸びている。背景として石島次郎EC事業部担当課長は「商流の変化がある」と話す。簡易的にインターネット経由で商品を買取るサービスが増加し、それによりメーカーのECサイトやショッピングサイトから消費者が製品を直接購入するケースが増えている。また、個人輸入や小規模バイヤーの輸入が増加しており、商社等を経由する間接貿易から直接貿易の割合が増加。通関が簡易的で手軽に少量から輸送できるクーリエや国際スピード郵便(EMS)の需要が増えているという。

特に同社のEC関連の取り扱いで伸びているのが、物流・輸送を代行する「ペガサスステーション」というサービスだ。Pegasus My Choiceという航空・海上の国際輸送で複数の輸送手段を提案し、最適輸送を利用し

てもらおうというサービスが下地となっており、そこにフルフィルメント業務を組み合わせて物流代行を行うものだ。集荷、在庫の保管・管理、梱包、貿易実務、国際輸送、輸送時のトラブル対応、IT(情報技術)システムによる物流サポート、さらに輸出入の仕組み構築についてのコンサルティングも行う。返送料手などにも対応する。

同サービスはコンセプトを「顧客に快適輸送を提供する」としており、事前に入念にコンサルティングを実施して、顧客それぞれや製品、仕向地などに応じた貿易の仕組みを構築するとともに、出荷前に輸送や貿易業務のトラブルやリスクを回避している。さらにトラブル対応などを充実させることで、エンド・ツー・エンドのサポート体制を敷いている。徳田愛子EC事業部担当課長は「各輸送事業者の料金表だけでは比較できないところまでを説明した上で委託してもらい、顧客が販売や受注などのコア業務に集中してもらえるような体制となっている」と話す。

また、同サービスの特徴について石島課長は「簡易的に貿易や越境EC輸送を開始できる点だ」と強調する。「輸出貨物のあるメーカーでもFOBやCIFなど現地側での通関を気にしない貿易条件で取引していた会社が多い。ただし越境ECの場合DDPなどでの取引になることが多く、担当者負担も大きくなる」という。ペガサ

スステーションではこうした貿易実務面もアドバイスすることで、顧客は貿易や物流に詳しい人材を配置する必要もなくなり、実務面での負担を軽減できる。

顧客にとってはコスト削減になることも多いという。製品に応じて輸送手段を選択肢、また適切な梱包で容積ロスをなくしてコストを最適化する。また、経験値による最適な輸送方法を提案することでトータル輸送コストの削減も可能にできる。現地で在庫リスクを抱えることもなくなり、確実に購入された商品を出荷するだけ、というサプライチェーンを構築できるという。

現在、コロナ禍のオペレーションで国際輸送はスペース不足や遅延が常態化し、確実な輸送が困難となっている。また、EMSでは受託の一時停止などもあり、単一の輸送方法では円滑なサプライチェーンが運営できなくなっている。ここでもペガサスステーションのサービスは有効だ。定時性の高いエクスプレスのサービスを利用し、スケジュールの信頼性を高めている。サービス開始当初は通常のフォワーディングで輸送していたが、コロナ禍での物流の混乱もあり1件ごとにクーリエで輸送する方法に切り替えたという。今後も市況変化に応じて、輸送方法を見直していく考えだ。

石島課長はさらに「国際輸送に精通した物流会社が運営する倉庫での

サービスだからこそ価値を提供できる」と話す。越境EC市場での拡大から、物流代行のフルフィルメントサービスに参入する会社も出てきているが、ノウハウや知見を活用して差別化を図っているという。「新規参入でも荷物を国内各地から集荷するまではできるだろうが、そこから一歩進んで最適な輸送方法を提供するというのは、国際宅配に35年以上の歴史がある当社だからこそできるサービスだ」と自信を示す。

特殊梱包、危険物に対応

ペガサステーションの取り扱いでは、ドラッグストア製品や玩具、伝統工芸品、酒類などが多い。日本酒の案件も多く、オプションでダメージ防止の特別梱包も提供するなど、高品質な梱包も売りだ。オプション梱包を実施した日本酒の輸送では過去3年で瓶の破損はゼロという。また危険物の取り扱いにも対応している。

ペガサステーションは大阪・南港

(大阪市住之江区)の拠点で先行しており、スペースを活用して一時的な在庫保管から手掛けている。倉庫、複数の輸送選択肢、さらにITシステムを組み合わせることで独自のメリットも構築している。

例えば、最終的な荷姿に応じて最適輸送を選択するというものだ。ペガサスはShopifyなどのECプラットフォームとAPI接続しており、ペガサステーションの顧客の受注情報を自動的に受け取ることができる。通常は輸送手段を決定してから梱包などの作業を開始するが、同拠点ではシステムで受け取ったオーダーから先に梱包作業を進め、梱包後のサイズや重量輸送方法を決定するというのも可能という。また、顧客はペガサスが管理する物流情報を、Shopifyなどのプラットフォームを介して追跡することも可能だ。

南港拠点での直近の取り扱い(輸送件数)は月間平均5000件以上。今後の展開としては、大阪のノウハウを生かし、東京など他の地域でも同様



大阪・南港の自社拠点。在庫保管から手掛け、迅速な仕分け・梱包、輸送手配を提供している

の自社拠点の立ち上げや、他のEC倉庫との提携を拡大してネットワークを拡大することを検討しているという。需要や取り扱いの進捗を見て判断していきたいとの方針だ。またECプラットフォーム企業との提携拡大も進めていくとしている。

Pegasus MyChoice

1億人に選ばれる国際物流サービスをご提供いたします。

本社：東京都江東区新木場1-8-11 TEL:03-3522-1555
EC事業部 / 東京：東京都千代田区東神田3-1-13 神田浅草橋ビル5階 TEL:03-5835-0695
/ 大阪：大阪府大阪市住之江区柴谷1-1-38 安田倉庫内4階 TEL:06-6686-1148

〈ペガサステーションに関する問い合わせ先〉
pge-campaign@pegasus-group.com

EC事業部/大阪 徳田、遠藤まで

Pegasus Global Express Co., Ltd. <https://www.pegasus-group.com>